

2024年10月期 経営近況報告会

2025年1月30日

パーク24株式会社

代表取締役社長CEO 西川 光一



東証プライム市場 4666

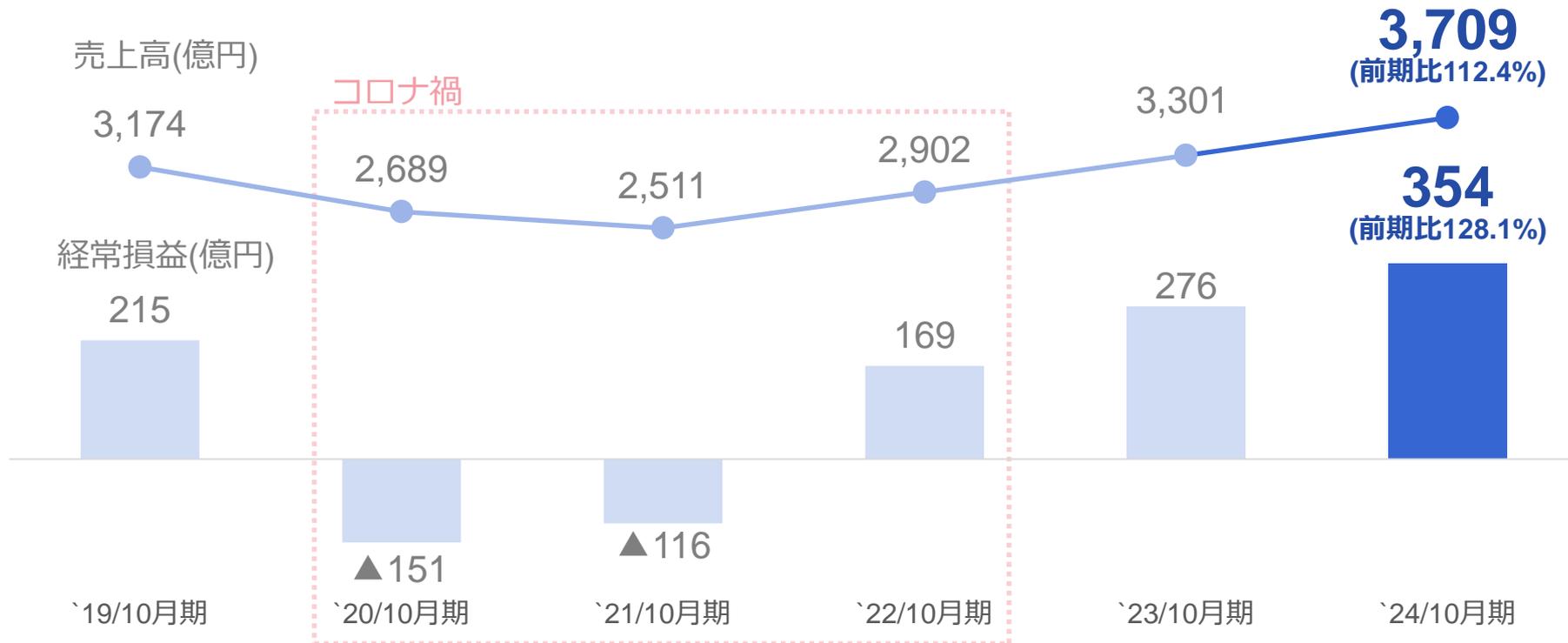
Ticker Symbol PKCOY

I. 2024年10月期 振り返り

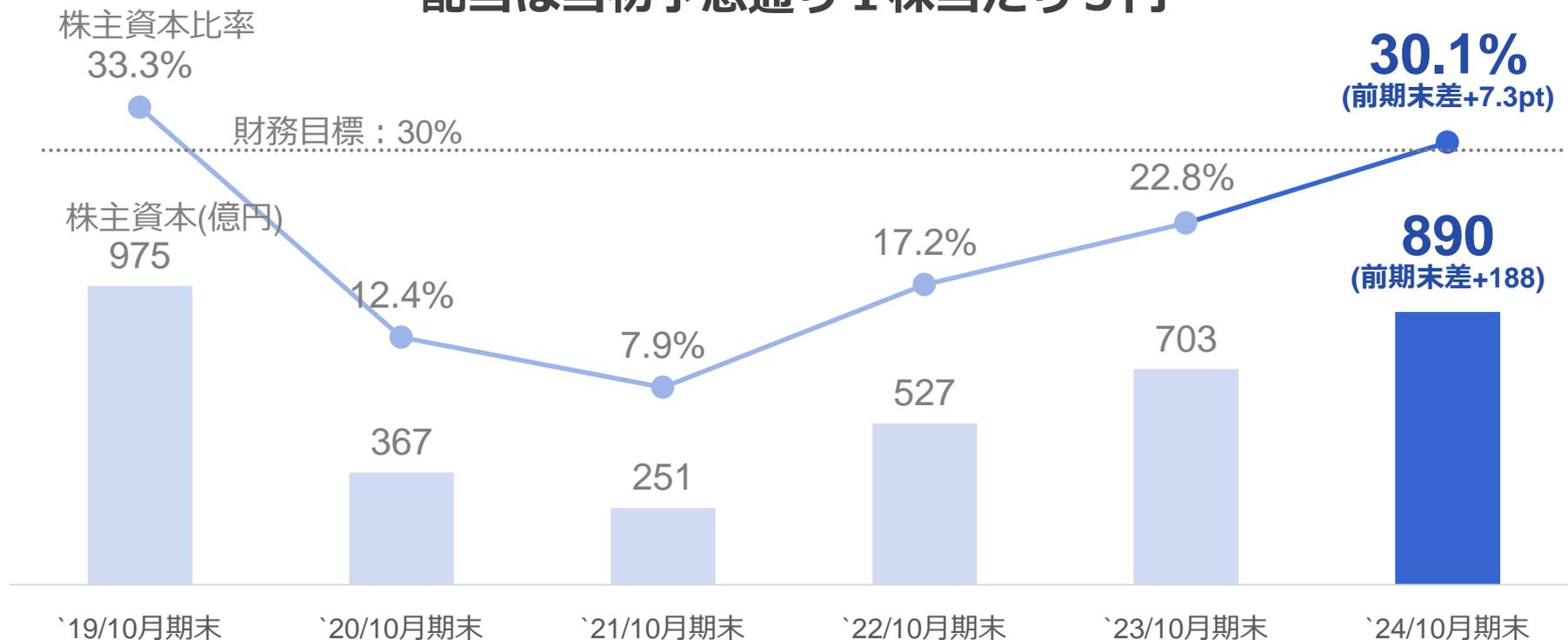
II. 2035年 中長期ビジョン

III. 2027年10月期 中期経営計画

筋肉質化した事業体質を維持したまま規模の拡大を推進 売上高・経常利益ともに過去最高

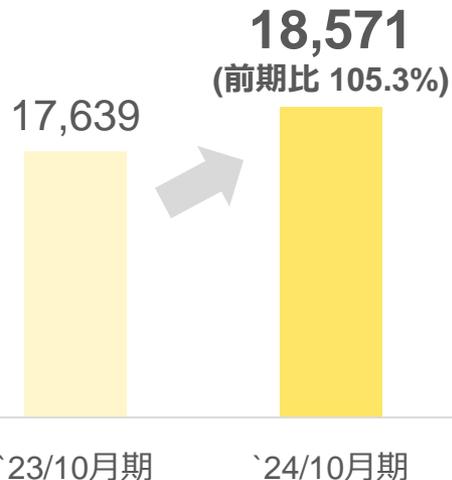


利益の積み上げにより財務は順調に健全化 配当は当初予想通り 1株当たり5円

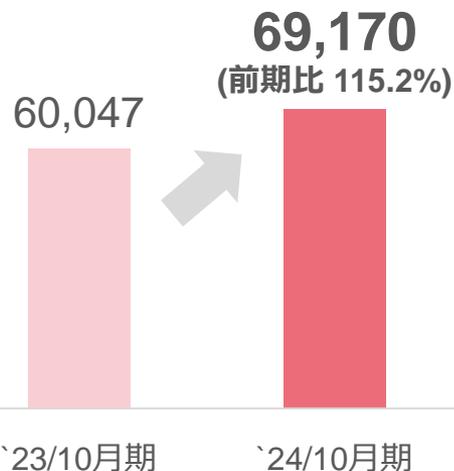


筋肉質化した事業体質を維持したままネットワークを拡大

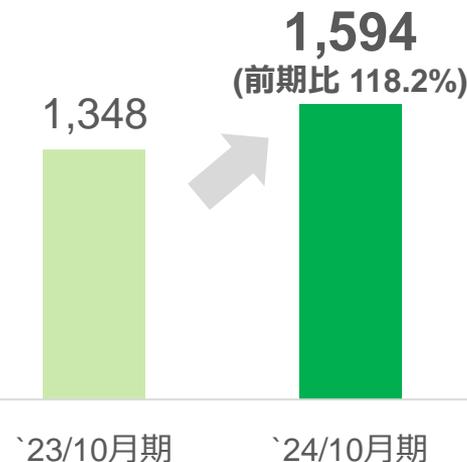
駐車場事業国内

タイムズパーキング
+ 932件

モビリティ事業

タイムズカー
+ 9,123台

駐車場事業海外

各国版タイムズパーキング
+ 246件

I. 2024年10月期 振り返り

II. 2035年 中長期ビジョン

III. 2027年10月期 中期経営計画

モビリティサービスプラットフォームへの進化

～パーク24グループなしにはモビリティサービスが展開できない、社会にとって必要不可欠な存在に～

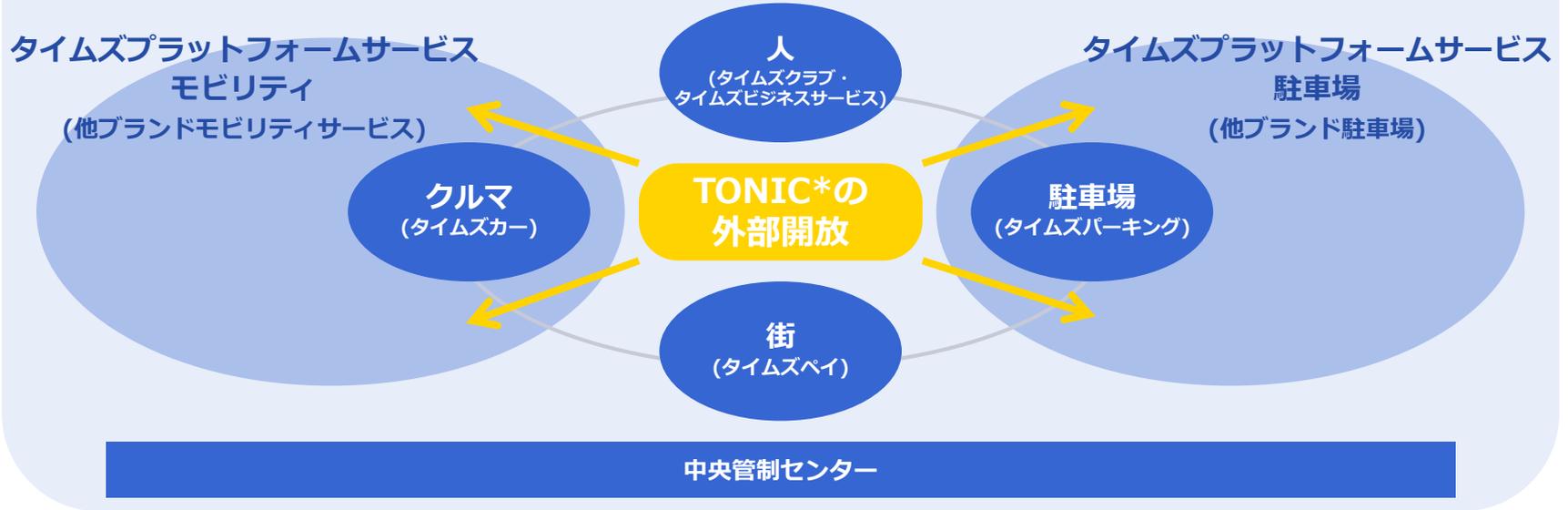
グループ理念

時代に応える、時代を先取る快適さを実現する。

当社グループが築いてきた人・クルマ・街・駐車場の4つのネットワークを起点に、
 新たなモビリティサービス・インフラを重層的に展開する、社会にとって必要不可欠な存在

タイムズのネットワーク：

- TONIC*の外部開放によるタイムズプラットフォームサービス(TPL)でネットワークを拡張
- ネットワーク加入で、サービス利用者(会員)・サービス提供者(土地/施設オーナー・TPL利用者)・当社グループが相互に便益を得るエコシステム



*TONIC：Times Online Network & Information Centerの略。駐車場やカーシェアなど、全国のタイムズのサービスと情報センターをオンラインで結ぶことで、運営・管理の効率化やサービスの充実による集客力の向上を可能にしたパーク24グループ独自のシステムインフラ。

I. 2024年10月期 振り返り

II. 2035年 中長期ビジョン

III. 2027年10月期 中期経営計画

2035年 中長期ビジョンの実現に向けた具体的な戦略として中期経営計画を策定

グループ理念

時代に応える、時代を先取る快適さを実現する。

2035年 中長期ビジョン

モビリティサービスプラットフォーム
への進化

2030年 テーマ

4つのネットワークの拡大・進化・融合

2027年10月期 中期経営計画

事業戦略

- ▶ 持続的な成長に向けた投資を積極的に行う
- ▶ TPL・中央管制センター等の新しい取り組みを推進

財務・株主還元戦略

- ▶ 財務イベントの完了が視野に
- ▶ 必要以上の利益の留保は行わず、株主還元を早期かつ積極的に拡充

投資により利益は緩やかながらも、持続的な伸長を目指す
、26/10月期にコロナ禍前の株主還元水準への回復を目指す

タイムズパーキング100万台
に向けて新規開発加速

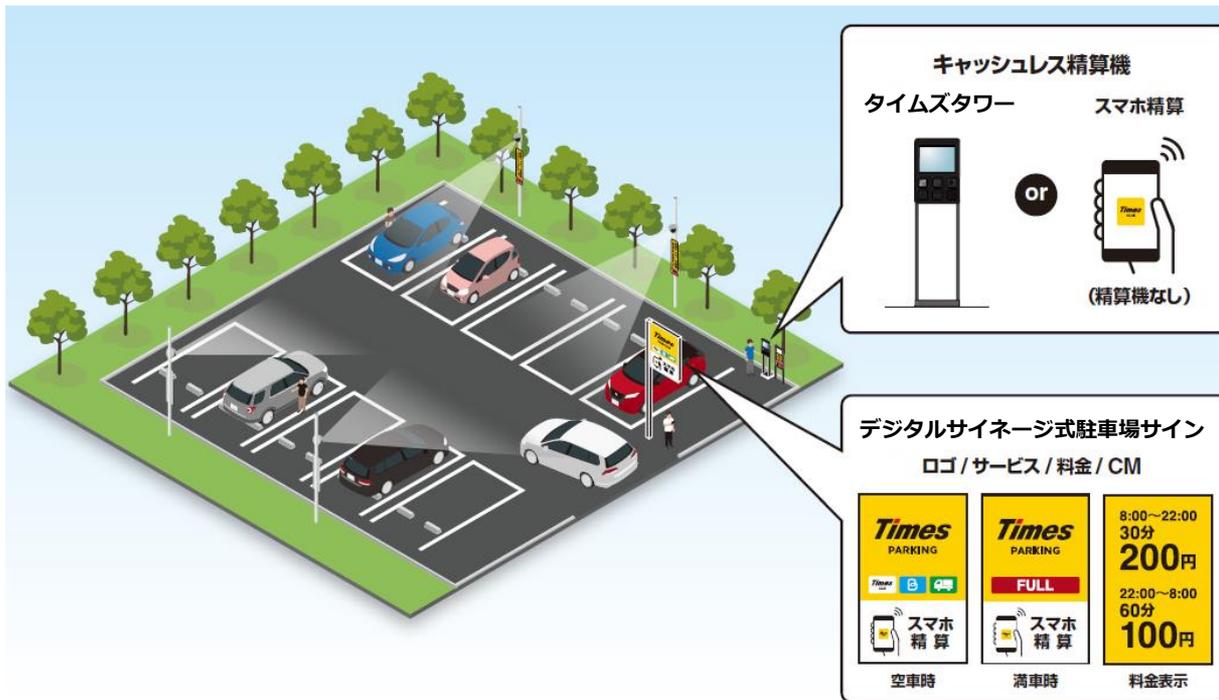
質の伴った拡大、
更なるネットワークの強化を図る

サービス進化による
利便性向上・収益最大化

カメラ式・タイムズタワー精算機・アプリ・
キャッシュレスなど、ICTを活用した進化

着実に規模を拡大しつつ、持続的な成長に向けたサービス進化を加速

カメラ式駐車場で、会員は“無感”決済がベース、 非アプリ会員はキャッシュレス精算機にて精算



“無感”決済

① アプリ会員登録



- ・アプリでプロフィール・車番・クレジットカード情報を登録して入会

② 駐車場利用



- ・入庫・出庫(利用者の手続きなし)
- ・車番で自動で料金計算

③ 精算



- ・アプリに登録したクレジットカード情報で自動精算(利用者の手続きなし)

増車を加速しながら
台・月当たり利用料を向上

年1万台のペースへ増車加速
平日の法人利用を中心に稼働向上を図る

新たな
ビジネスチャンスへの挑戦

ライドシェア・インバウンド・自動運転など
ビジネスチャンスを確実に掴む

引き続き需要の創出と取り込みを進めると同時に
様々な可能性を模索

各国版タイムズパーキングの
開発体制 確立

国内のリソース・ノウハウを注入
開発加速を図る

収益化に向けた
具体的な施策の遂行

買収前からの物件の収益化・整理
各国版タイムズパーキングの収益管理など

5年～10年後に当社グループの成長を牽引するための準備
英国は`25年11月以降に“振り返り”を実施

TPLで他ブランドの駐車場・モビリティサービスへ
当社サービスインフラやシステム等を提供



Times PLATFORM SERVICE

タイムズ(自社ブランド)のサービスの
自律的開発・拡大

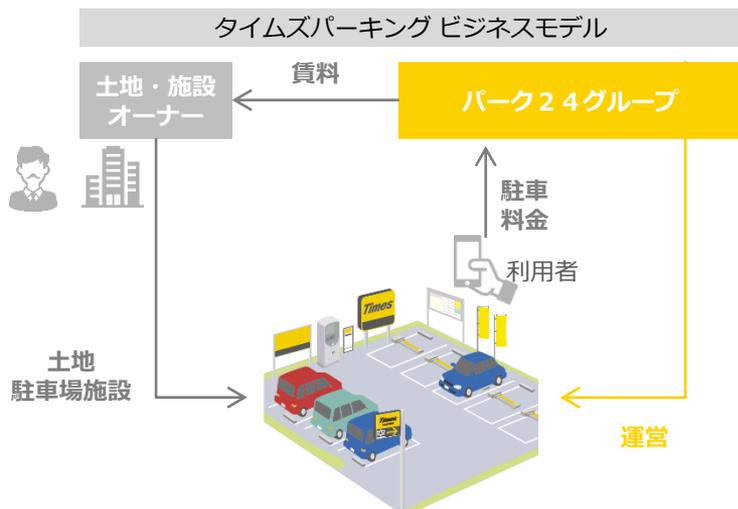
他ブランド駐車場・モビリティサービスへ
当社サービスインフラ・システム等を提供

2035年 中長期ビジョン

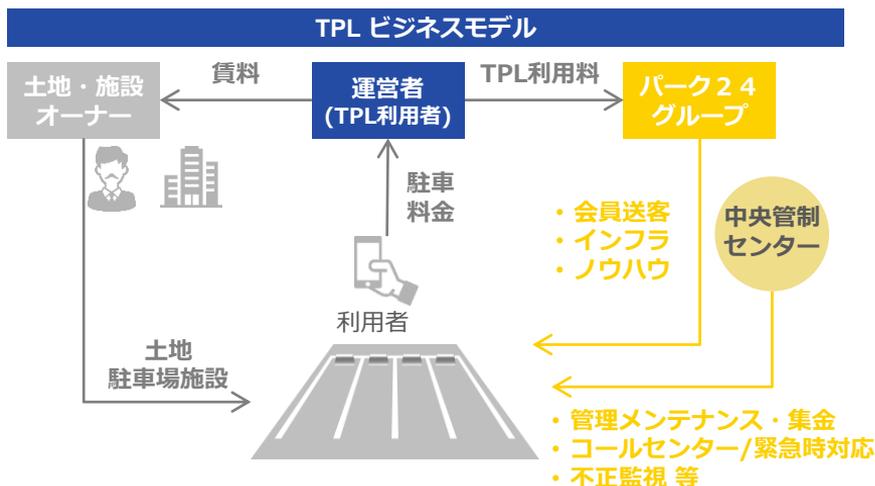
モビリティサービスプラットフォームへの進化

～当社の存在なしにはモビリティサービスが展開できない、社会にとって必要不可欠な存在に～

当社グループはインフラ・ノウハウや中央管制センターのサービスを提供、 駐車場運営者からTPL利用料を受け取る



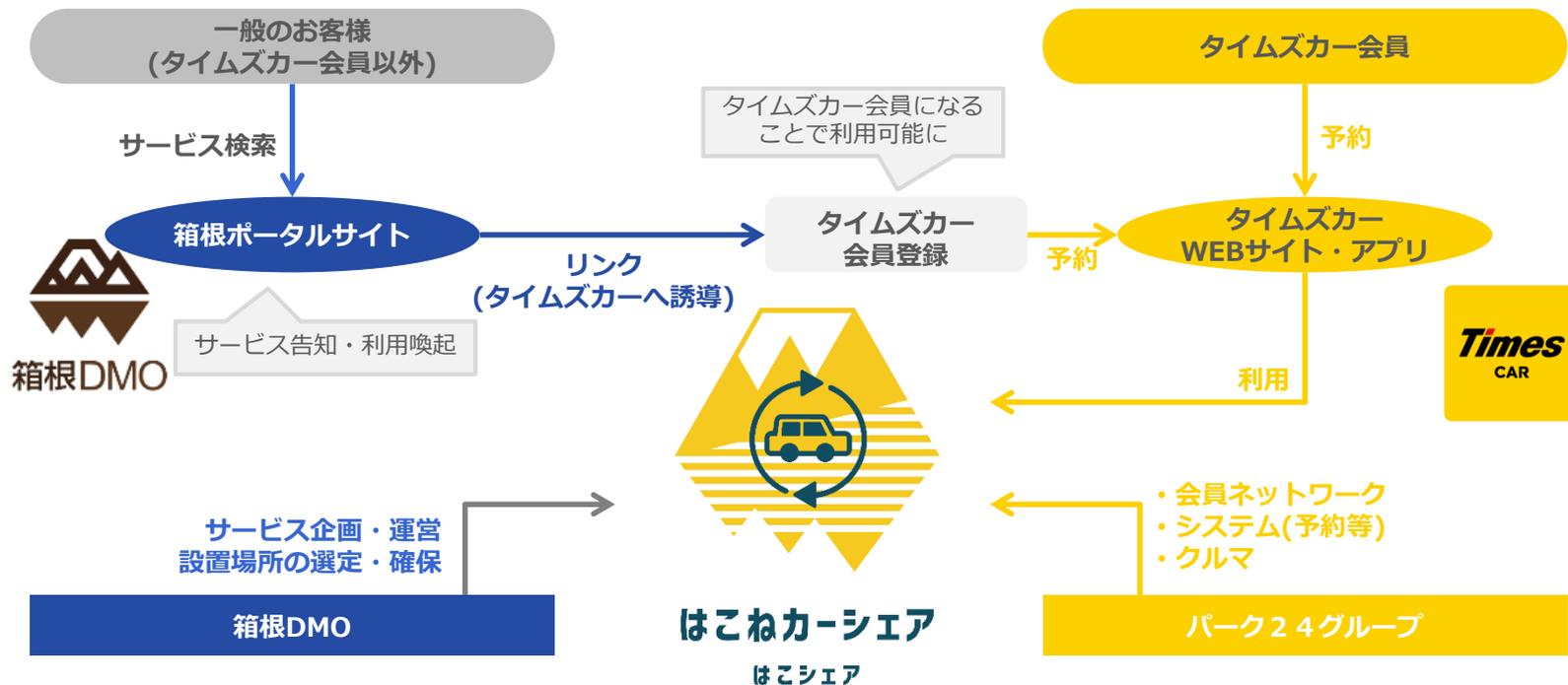
サービスブランド	タイムズパーキング(当社ブランド)
駐車場運営者	パーク24グループ
当社売上	駐車場利用料



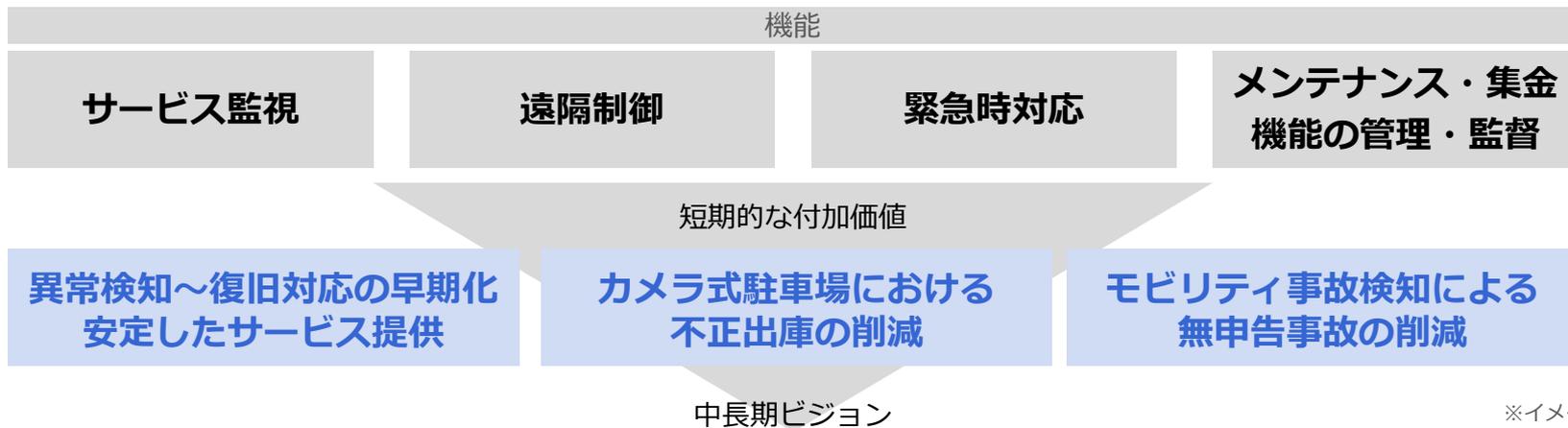
他社ブランド
他事業者(TPL利用者)
運営する事業者からのTPL利用料

タイムズカーの会員ネットワーク・システム等を使い 他ブランドのカーシェアサービスを展開

はこねカーシェアの事例



モビリティサービスプラットフォーム向け、 サービスを一元的にコントロールする体制構築

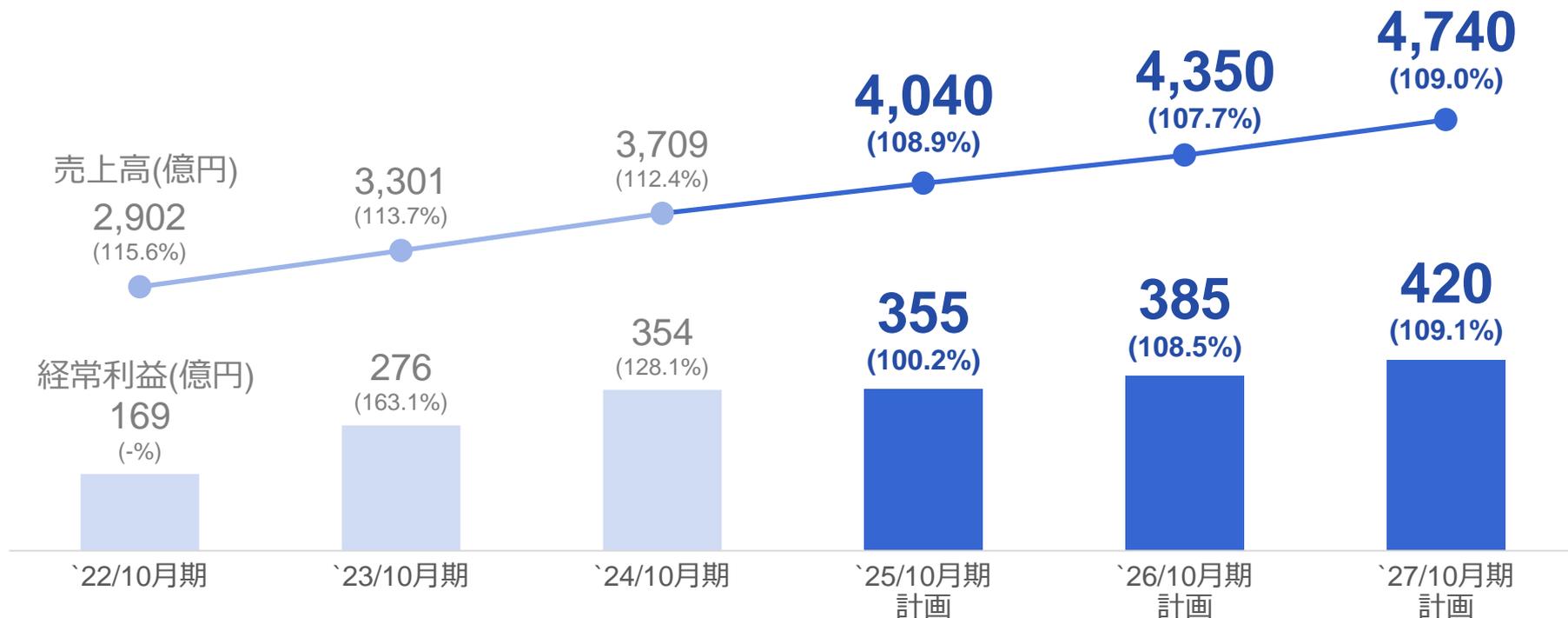


※イメージ図

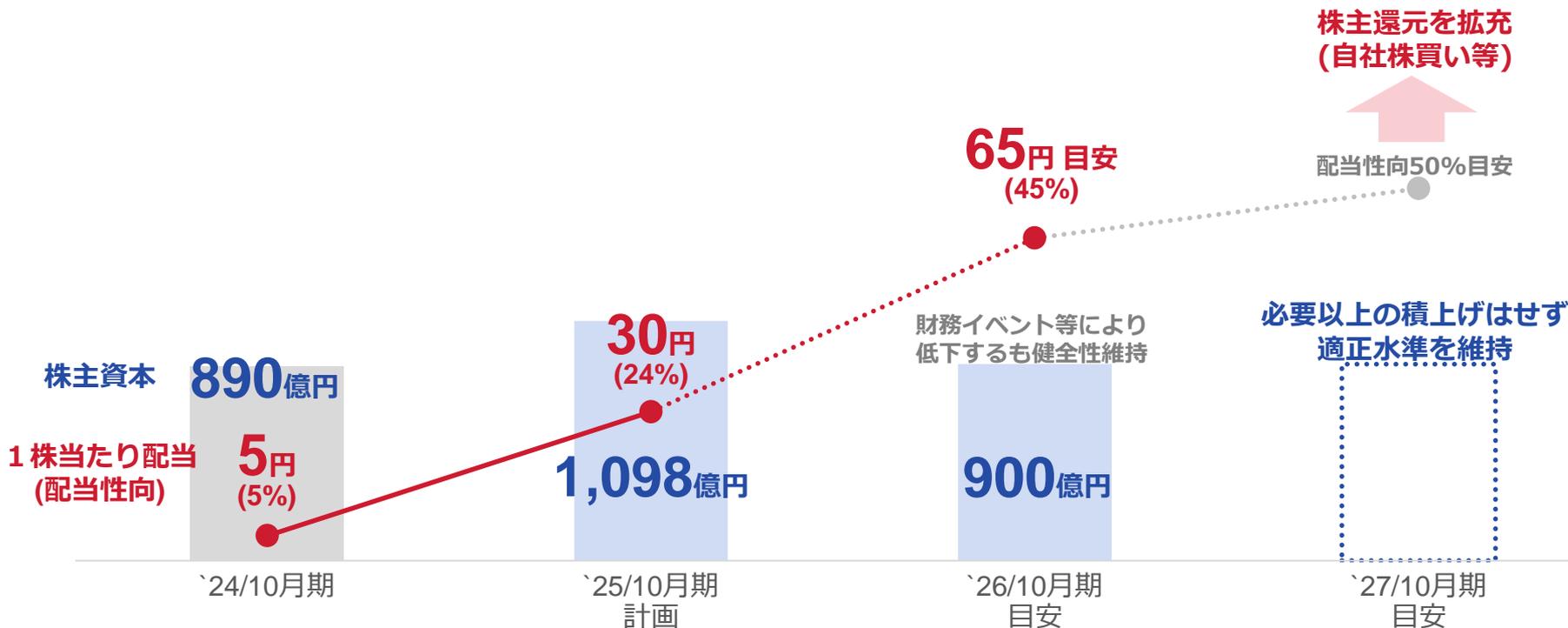
将来的に自動運転車が普及した際の車両の遠隔操作・制御を担い、
日本最大・唯一のモビリティサービスプラットフォームへ



持続的な成長に向けた投資を積極的に行いながら、
経常利益の持続的な伸長を目指す



今後の財務イベント等を見据え、`25/10月期は30円/株の配当予想
 `26/10月期～ 余剰資本は株主還元を中心に検討、総還元性向を高める



免責事項

本資料に記載されている業績目標・戦略並びにその他の記述のうち過去の事実でないものは、いずれも当社が現在入手可能な情報を基にした見通しとなります。

実際の業績等は、経営環境の変動やその他の不確実な要因により、これら見通しと大きく異なる場合があります。